

令和6年4月分 清水税関支署管内 貿易概況（速報）の要旨

1. 清水港

輸出総額は1,846億円（対前年同月比4.4%の減少、比率ベース：3カ月連続の減少）、輸入総額は1,153億円（同2.6%の減少、3カ月連続の減少）であった。差引額は693億円（同7.2%の減少）の輸出超過となった。

品目別では、輸出は「科学光学機器」、「建設用・鉱山用機械」などが増加したもの、「原動機」、「加熱用・冷却用機器」、「電気計測機器」などは減少した。

輸入は「液化天然ガス」、「絶縁電線及び絶縁ケーブル」などが増加したものの、「魚介類及び同調製品」、「がん具及び遊戯用具」、「通信機」などは減少した。

地域別では、輸出は「アメリカ」、「EU」が減少、「アジア」は増加した。輸入は「EU」が減少、「アジア」、「アメリカ」は増加した。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
清水港	1,846億円	▲4.4%	1,153億円	▲2.6%	693億円	▲7.2%
	3カ月連続の減少		3カ月連続の減少			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 科学光学機器	151億円	+23.3%	輸入	増加品目	(1) 液化天然ガス	93億円	+64.8%
		(2) 建設用・鉱山用機械	83億円	+46.4%			(2) 絶縁電線及び絶縁ケーブル	53億円	+50.1%
		(3) プラスチック	65億円	+48.8%			(3) 有機化合物	53億円	+31.1%
	減少品目	(1) 原動機	223億円	▲37.8%		減少品目	(1) 魚介類及び同調製品	163億円	▲48.0%
		(2) 加熱用・冷却用機器	31億円	▲62.5%			(2) がん具及び遊戯用具	18億円	▲76.2%
		(3) 電気計測機器	21億円	▲40.5%			(3) 通信機	3億円	▲66.6%
	主要地域 増減	アメリカ、EUが減少、アジアは増加				主要地域 増減	EUが減少、アジア、アメリカは増加		

（参考）ドルレートは、151.66円（前年同月比14.7%、19.43円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。

2. 田子の浦港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額(▲は輸入超過)	伸率
田子の浦港	12億円	+41.7%	29億円	2倍	▲16億円	3倍
	3カ月連続の増加		2カ月ぶりの増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率		
輸出	増加品目	(1) 電気計測機器	3億円	15倍	輸入	増加品目	(1) とうもろこし	12億円	+31.0%		
		(2) 写真用・映画用材料	3億円	+50.7%			(2) パルプ	2億円	2.9倍		
		(3) 無機化合物	1億円	+61.9%			(3) 魚介類及び同調製品	1億円	+49.5%		
	減少品目	(1) 金属鉱及びくず	2億円	▲20.7%		減少品目	(1) 石炭	—	全減		
		(2) 精油・香料及び化粧品類	1億円	▲11.2%			(2)				
		(3) 織物用糸及び繊維製品	1百万円	▲67.9%			(3)				
	主要地域 増減		アジア、EU、アメリカが増加					アメリカ、EUが増加、アジアは減少			

3. 御前崎港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額(▲は輸入超過)	伸率
御前崎港	398億円	+29.6%	32億円	+80.0%	367億円	+26.6%
	2カ月ぶりの増加		2カ月ぶりの増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率		
輸出	増加品目	(1) 自動車	235億円	+49.0%	輸入	増加品目	(1) 鉄鋼	12億円	+40.7%		
		(2) 自動車の部分品	56億円	+49.7%			(2) お茶	19百万円	全増		
		(3) 電気計測機器	3億円	2.7倍			(3) プラスチック	32百万円	+32.5%		
	減少品目	(1) 無機化合物	7億円	▲51.8%		減少品目	(1) 木製建具及び建築用木工品	61百万円	▲35.3%		
		(2) 二輪自動車類	13億円	▲16.6%			(2) 医薬品	—	全減		
		(3) 運動用具	1億円	▲59.5%			(3) 染料・なめし剤及び着色剤	—	全減		
	主要地域 増減		EU、アジア、アメリカが増加					EUが増加、アジアは減少			

4. 静岡空港

輸出入実績なし